



Your Dreams, Our Challenge

タフ ガイ
サラセーナ® 堅鎧® システム



JIS A 6021

高強度形 / 高伸長形 **W** 認証 ウレタン防水材

サラセーナ® A

2022年10月版

この違いが、価値を向

サラセーヌから、ルーフバルコニー、ベランダ

タフ ガイ

「サラセーヌ堅鎧」システムは、

堅い防水材と伸びる防水材の

ツイン構造が、驚きの耐久性を実現。

優れた
耐久性

お掃除
簡単



プランターで
花や緑のある暮らし



※緊急時の避難経路は確保してください。

※サラセーヌA(平場用・立上り用)は、共に手塗り防水材として日本で初めてJIS高強度形ウレタン防水材に認証された製品です。

※写真はイメージです。

上させる。

、屋上の防水に新たな提案

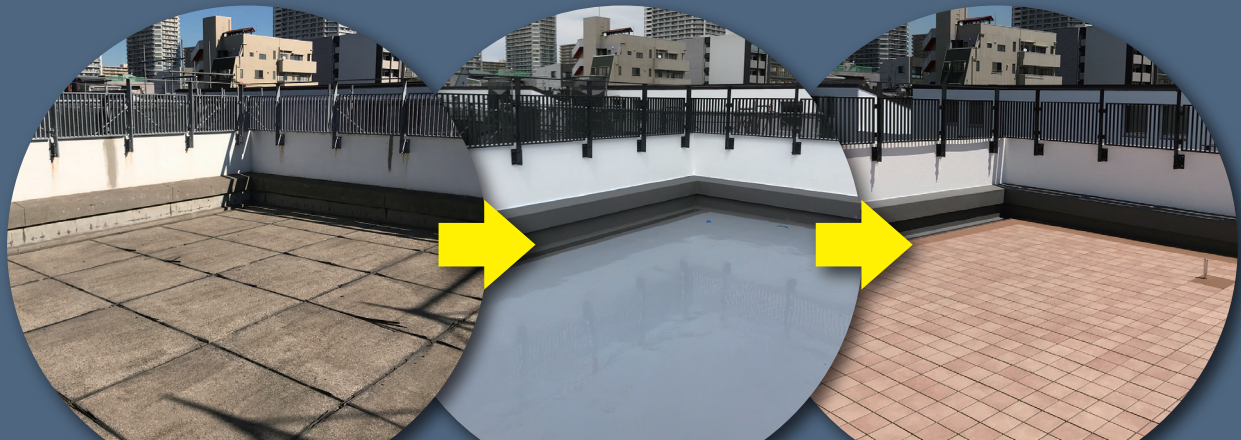
キズつき
にくい

手軽に
アレンジ

置き敷きタイルで
グッとおしゃれに



— 施工例のご紹介 —



ウレタン防水施工前

ウレタン防水施工後

置き敷きタイル設置例

★出典元:積水化学工業株式会社.RIENA/CREGAREカタログ

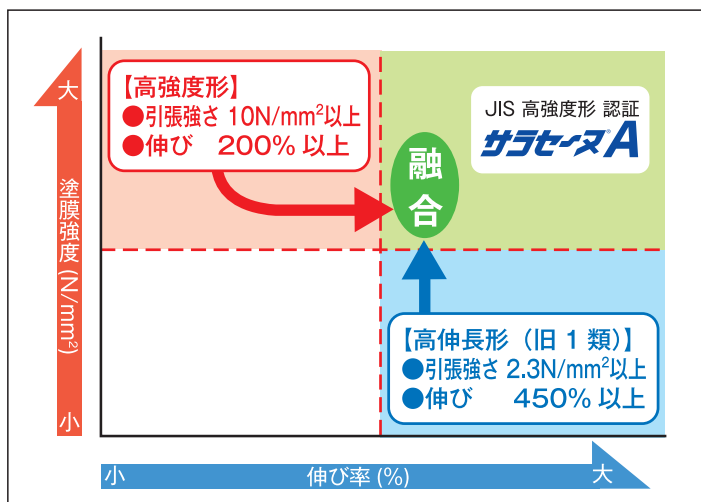
ウレタン防水材料 **サラセーナ®A**

日本初 JIS A 6021 高強度形防水材料認証取得製品

2011年 JIS A 6021 塗膜防水材料規格に
高強度形ウレタン防水材料の規格が設定されました。

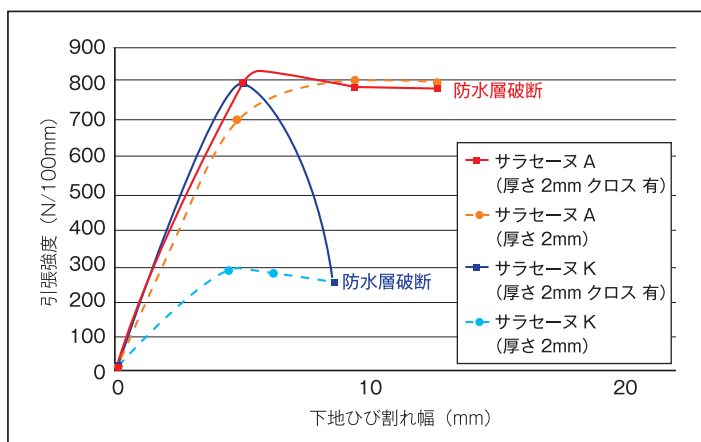
サラセーナ A (平場用・立上り用) は、超速硬化
吹付け防水材料並みの高い塗膜強度と手塗り防水材料の
良好な伸び性能の両立を実現しました。
日本で初めて手塗り防水材料として JIS 高強度形に
認証された製品です。

※サラセーナAは、JIS A 6021塗膜防水材料高伸長形の規格も
満たしているため公共建築工事標準仕様にも使用できます。

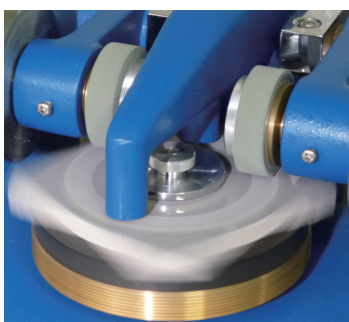


サラセーナ A の塗膜強度

高い塗膜強度と良好な伸び性能を持つため、
従来からある高伸長形防水材料サラセーナ K と
比較しても補強クロスの有無に関わらず、
抜群な強度と下地のひび割れに優れた
追従性を発揮できます。

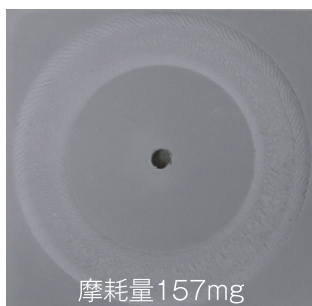


防水塗膜の耐摩耗性



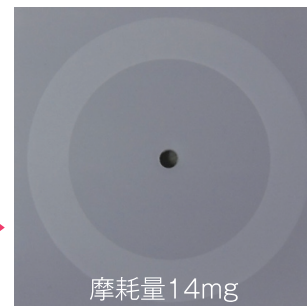
テーバー摩耗試験機
■試験条件
テーバー CS-17
1kg×1,000回

従来品 高伸長形
自社製品



約 $\frac{1}{10}$

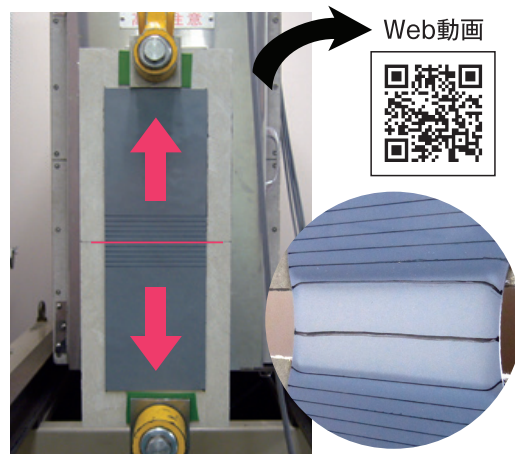
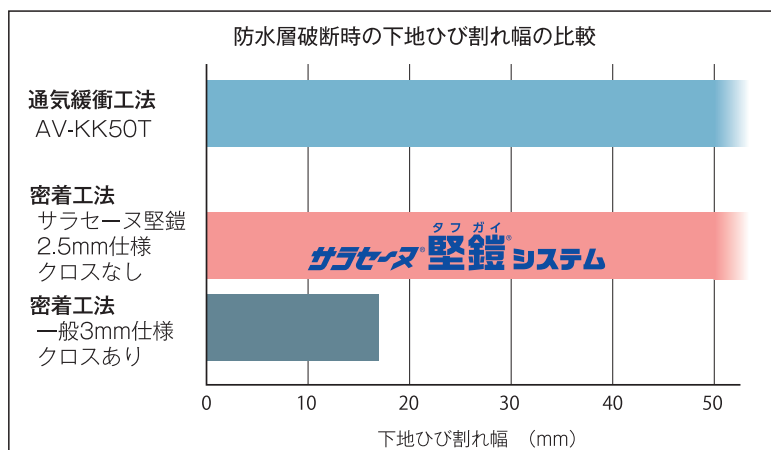
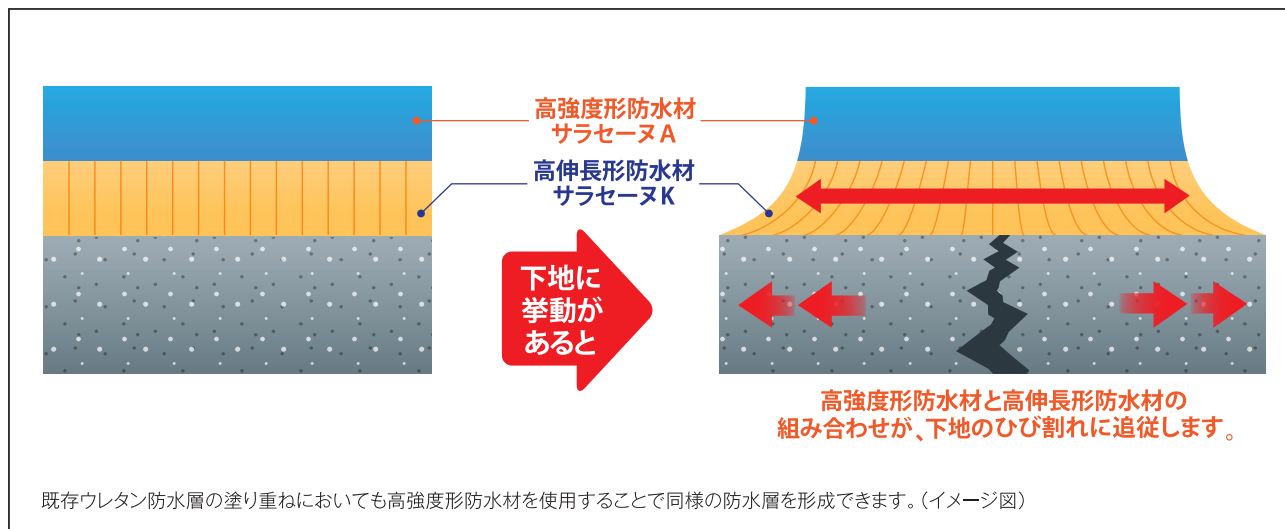
高強度形
サラセーナ®A



タフガイ サラセーナ® 堅鎧システム

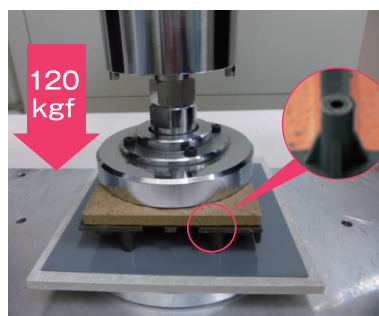
驚きの下地ひび割れ追従性能

高強度形防水材サラセーナAと従来の高伸長形防水材を組み合わせることで、通気緩衝工法に匹敵する下地追従性を実現!!



複層密着工法は通気緩衝工法並みに下地追従性を発揮します。

安心の耐荷重性



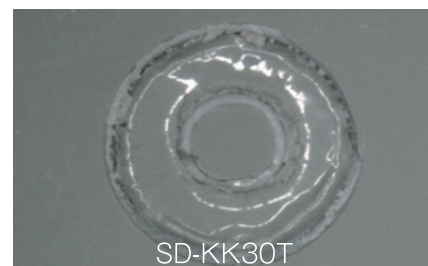
テンシロン万能試験機
■試験条件
試験速度 (50mm/分)
上限荷重 120kgf
繰り返し回数 (20,000回)

繰り返しテスト20,000回後の表面状態

タフガイ
サラセーナ® 堅鎧



従来品 高伸長形
自社工法



屋上・ルーフバルコニー等に適用

《通気緩衝 AV 工法（有孔不織布タイプ）》

サラセーヌタフガイ AV-A45T
AV-A45Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌAVボンド	0.25kg
② サラセーヌAVシートまたは サラセーヌAVシートブルー	-
③ サラセーヌAV-W	1.2kg
④ サラセーヌA	2.0kg
⑤ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

防水層厚み平均2.3mm

《密着 SD 工法》

サラセーヌタフガイ SD-AK25T
SD-AK25Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌK★	1.7kg★
③ サラセーヌA	1.5kg
④ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

★サラセーヌAに変更することができます。 防水層厚み平均2.5mm
変更した場合、使用量は1.5kg/m²になります。

《通気緩衝 QV 工法（自着層タイプ）》

サラセーヌタフガイ QV-AK45T
QV-AK45Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② QVシート ジョイントテープ/MBテープ100/ サラセーヌ立上り用	-
③ サラセーヌK	1.3kg
④ サラセーヌA	1.2kg
⑤ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

防水層厚み平均2.0mm

《密着 SD 工法》

サラセーヌタフガイ SD-AK30T
SD-AK30Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌK★	2.0kg★
③ サラセーヌA	1.8kg
④ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

★サラセーヌAに変更することができます。 防水層厚み平均3.0mm
変更した場合、使用量は1.8kg/m²になります。

《通気緩衝 QV 工法（自着層タイプ）》

サラセーヌタフガイ QV-A45T
QV-A45Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② QVシート ジョイントテープ/MBテープ100/ サラセーヌ立上り用	-
③ サラセーヌA	2.4kg※注
④ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

防水層厚み平均2.0mm

※注 勾配等の諸条件により膜厚が確保できない場合は
数回に分けて塗布してください。

《密着 SD 工法 共通立上り》

サラセーヌタフガイ SD-A 立上り 20T
SD-A 立上り 20Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌ立上り用★	1.3kg★
③ サラセーヌA立上り用	1.2kg
④ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

★サラセーヌA立上り用に変更することができます。 防水層厚み平均2.0mm
変更した場合、使用量は1.2kg/m²になります。

注意事項

- ※下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。詳細はサラセーヌ防水カタログをご参照ください。
- ※保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、サラセーヌ防水カタログをご参照ください。
- ※品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材としてサラセーヌTフッ素をご採用ください。
- ※モルタル・コンクリート下地は、金ごてで押さえて、平滑に仕上げてください。
- ※脱気筒は50m²~100m²に一箇所を目安に取り付けてください。
- ※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ（#100、#200）を必要に応じてご使用ください。
規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ（#100、#200）を省略することができます。
- ※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち（10mm幅程度）してください。

施工上の注意 サラセーヌAおよびサラセーヌA立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。

屋上・ルーフバルコニー等に適用

塗り重ね仕様

《密着工法》

サラセーヌタフガイ NK-A20T
NK-A20Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA	1.2kg
③ サラセーヌA	1.2kg
④ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

塗り重ね仕様

《密着工法 立上り・笠木・架台等》

サラセーヌタフガイ NK-A 立上り 20T
NK-A 立上り 20Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA立上り用	1.2kg
③ サラセーヌA立上り用	1.2kg
④ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均2.0mm

塗り重ね仕様 ※適用基準あり

サラセーヌタフガイ NK-A16T
NK-A16Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA	2.0kg
③ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.6mm

塗り重ね仕様 ※適用基準あり

サラセーヌタフガイ NK-A 立上り 16T
NK-A 立上り 16Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA立上り用	1.0kg
③ サラセーヌA立上り用	1.0kg
④ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.6mm

※適用基準

サラセーヌタフガイNK-A 16T(Tフッ素)工法、またはサラセーヌタフガイNK-A 立上り16T(Tフッ素)工法をご採用いただく場合には、以下の適用基準を満たしていることを事前にご確認ください。

- ① 防水層に起因する階下居室への漏水が無いこと。
- ② 既存ウレタン塗膜防水層に著しい亀裂やフクレが無く、部分補修により、改修下地として十分に適用できる状態であること。
- ③ 既存ウレタン塗膜防水層に十分な膜厚(平均3mm以上を目安とする)が確保されていること。

上記基準を満たさない場合は、サラセーヌタフガイNK-A 20T(Tフッ素)工法等をご検討ください。

注意事項

※下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。詳細はサラセーヌ防水カタログをご参照ください。

※保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、サラセーヌ防水カタログをご参照ください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。

規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。

※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。

施工上の注意 サラセーヌAおよびサラセーヌA立上り用は希釈量2%を上限とし、金ごてやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。

階下に居室がないベランダ・庇等に適用

《密着 SD 工法》

サラセーヌタフガイ SD-A15T
SD-A15Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌA	1.8kg <small>※注</small>
③ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.5mm

《密着 SD 工法 立上り・側溝・巾木等》

サラセーヌタフガイ SD-A 立上り 15T
SD-A 立上り 15Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌA立上り用	1.8kg <small>※注</small>
③ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.5mm

※注 勾配等の諸条件により膜厚が確保できない場合は数回に分けて塗布してください。

塗り重ね仕様

《密着工法》

サラセーヌタフガイ NK-A13T
NK-A13Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA	1.6kg <small>※注</small>
③ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.3mm

塗り重ね仕様

《密着工法 立上り・側溝・巾木等》

サラセーヌタフガイ NK-A 立上り 13T
NK-A 立上り 13Tフッ素

工程	使用量 / m ²
① P-60プライマー	0.1kg
② サラセーヌA立上り用	1.6kg <small>※注</small>
③ サラセーヌT (サラセーヌTフッ素)	0.2kg (0.15kg)

防水層厚み平均1.3mm

※注 勾配等の諸条件により膜厚が確保できない場合は数回に分けて塗布してください。

注意事項

※下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。詳細はサラセーヌ防水カタログをご参照ください。

※保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、サラセーヌ防水カタログをご参照ください。

※モルタル・コンクリート下地は、金ゴテで押さえて、平滑に仕上げてください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※膜厚確保が難しい出隅は、補強用クロスまたはクロステープ(#100、#200)を必要に応じてご使用ください。

規定厚みが確保できれば、補強用クロスやクロステープ(#100、#200)を省略することができます。

※入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材にて三角打ち(10mm幅程度)してください。※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

施工上の注意 サラセーヌAおよびサラセーヌA立上り用は希釈量2%を上限とし、金ゴテやゴムベラ等で必ず規定の厚みを確保してください。

公共建築工事標準仕様相当工法（令和4年版）

下記の仕様は公共建築工事標準仕様書(令和4年版)に準じます。

《X-1（有孔不織布タイプ）》

サラセーヌタフガイ AV-X-1AK T仕上げ
AV-X-1AK Tフッ素仕上げ

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌAVボンド	0.3kg
② サラセーヌAVシートブルー	—
③ サラセーヌAV-W	注1
④ サラセーヌK	1.4kg
⑤ サラセーヌA	1.3kg
⑥ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

サラセーヌAVシートブルーはサラセーヌAVシートに変更可能です。

《X-1（自着層タイプ）》

サラセーヌタフガイ QV-X-1AK T仕上げ
QV-X-1AK Tフッ素仕上げ

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② QVシート ジョイントテープ/サラセーヌ立上り用	1.06m
③ サラセーヌK	2.0kg
④ サラセーヌA	1.8kg
⑤ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

《X-2》

サラセーヌタフガイ X-2AK T仕上げ
X-2AK Tフッ素仕上げ

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌK 補強用クロス	0.8kg —
③ サラセーヌK	1.6kg
④ サラセーヌA	1.4kg
⑤ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

《X-2 立上り》

サラセーヌタフガイ X-2立上りA T仕上げ
X-2立上りA Tフッ素仕上げ

工程	使用量 / m ²
① サラセーヌP	0.2kg
② サラセーヌ立上り用 補強用クロス	0.8kg —
③ サラセーヌ立上り用	0.8kg
④ サラセーヌA立上り用	1.0kg
⑤ サラセーヌT（サラセーヌTフッ素）	0.2kg（0.15kg）

注1:「サラセーヌAV-W」の塗布量は、「サラセーヌAVシート」使用時は1.5kg/m²、「サラセーヌAVシートブルー」使用時は1.3kg/m²となります。

- この工法は、日本建築学会建築工事標準仕様書JASS8-2022防水工事ウレタンゴム系塗膜防水工法・絶縁仕様L-USSおよびウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様L-UFSに準拠します。

■ウレタンゴム系塗膜防水工法の種別および工程

種別	X-1工法(絶縁工法)		X-2工法(密着工法)	
	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	接着剤塗り、 通気緩衝シート張り*1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	3.0*4,*5	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	2.7*4,*5 (1.7)*2
4	仕上塗料塗り*6	—	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	—
5	—	—	仕上塗料塗り*6	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。

※2：立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3および工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を（ ）内とする。

※3：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

※4：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。

※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。

※6：仕上塗料の種類および使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

技術資料

■性状

品名	サラセーヌA	サラセーヌA立上り用
配合比	主剤：硬化剤 = 1：1（質量比）	主剤：硬化剤 = 1：1（質量比）
色（外観）	ブルーグレー	ブルーグレー
混合粘度（mPa・s/20℃）	12,000	パテ状
初期硬化時間（時間/20℃）	16	16

■物性（JIS A 6021-2011 屋根用塗膜防水材料による試験結果 抜粋）

項目		種類	屋根用塗膜防水材料			
			ウレタンゴム系 高強度形規格	ウレタンゴム系 高伸長形(旧1類)規格	〈一般用〉	〈立上がり用〉
					サラセーヌA	サラセーヌA立上り用
引張性能	引張強さ N/mm ²	試験時温度 23℃	10以上	2.3以上	14	13
		試験時温度 -20℃	10以上	2.3以上	26	25
		試験時温度 60℃	6.0以上	1.4以上	8.4	8.3
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	200以上	450以上	490	550
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	700以上	280以上	1,400	1,470
	破断時の つかみ間の 伸び率 %	試験時温度 23℃	120以上	300以上	340	400
		試験時温度 -20℃	100以上	250以上	260	290
試験時温度 60℃		100以上	200以上	280	330	
引裂性能	引裂強さ N/mm	30以上	14以上	46	43	
たれ抵抗性能 (一般用は除く)	たれ長さ mm	いずれの試験体も3.0以下	いずれの試験体も3.0以下	—	0.0	
	しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない。	いずれの試験体にもあってはならない。	—	異常なし	
固形分 %	主剤	表示値±3.0	表示値±3.0	91.0	91.0	
	硬化剤			99.0	99.0	
硬化物密度 Mg/m ³		表示値±0.1	表示値±0.1	1.2	1.2	

上記の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

平場用
サラセーヌA



16kg セット（主剤 8kg・硬化剤 8kg）
配合比 1:1

立上り用
サラセーヌA立上り用



16kg セット（主剤 8kg・硬化剤 8kg）
配合比 1:1

材料一覧／消防法区分

分類	品名		荷姿	消防法関係		特長・用途
				危険物区分	液比重	
プライマー／ボンド	サラセーヌP	1成分	16kg	4類2石(非水溶性)	0.98	ウレタン系一般モルタル・コンクリート用プライマー
	P-60プライマー	1成分	5kg	4類1石(非水溶性)	0.89	ウレタン系塗り重ね用・層間プライマー
	サラセーヌAVボンド	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	0.98	ウレタン系AVシート張付け用接着材 主剤:硬化剤=1:1
硬化剤		8kg	指定可燃物可燃性液体類	1.76		
防水材	サラセーヌA	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	1.05	JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形一般用防水材 主剤:硬化剤=1:1
		硬化剤	8kg	4類4石	1.53	
	サラセーヌA立上り用	主剤	8kg	4類2石(非水溶性)	1.05	JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形立上り用防水材 主剤:硬化剤=1:1
		硬化剤	8kg	指定可燃物可燃性個体類	1.50	
	サラセーヌK	主剤	8kg	4類4石	1.06	JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形一般用防水材 主剤:硬化剤=1:2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性液体類	1.60	
	サラセーヌ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.06	JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上り用防水材 主剤:硬化剤=1:2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性個体類	1.60	
	サラセーヌAV-W	主剤	8kg	4類4石	1.06	JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形AVシート目止め用防水材 主剤:硬化剤=1:2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性個体類	1.50	
保護仕上材	サラセーヌT	主剤	6kg	4類2石(非水溶性)	0.94	アクリルウレタン系保護仕上材 主剤:硬化剤=2:3
		硬化剤	9kg	4類1石(非水溶性)	1.20	
	サラセーヌTフッ素	主剤	2kg	4類2石(非水溶性)	0.93	フッ素樹脂系超耐候性保護仕上材 主剤:硬化剤=1:3
硬化剤		6kg	4類2石(非水溶性)	1.10		
副資材	AVシート	幅×長さ	1m×20m	-	-	有孔通気緩衝シート
	AVシートブルー	幅×長さ	1m×40m	-	-	有孔通気緩衝シート
	スリットテープ	幅×長さ	50mm×100m	-	-	AVシート突合せ部処理用
	QVシート	幅×長さ	1.04m×15m	-	-	自着層付き通気緩衝シート
	ジョイントテープ	幅×長さ	100mm×50m×4巻	-	-	QVシートジョイント処理用テープ
	MBテープ100	幅×長さ	100mm×20m×8巻	-	-	QVシート端末処理用テープ
	サラセーヌクロス#2000	幅×長さ	1m×100m	-	-	補強用ガラス繊維織布(平場・立上り兼用)
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	-	-	補強用ポリエステル繊維織布(平場・立上り兼用)
	クロステープ#100	幅×長さ	100mm×50m×4巻	-	-	自着層付ガラス繊維織布
	クロステープ#200	幅×長さ	200mm×50m×2巻	-	-	自着層付ガラス繊維織布
	ウレタン希釈剤	1成分	16L	4類2石(非水溶性)	0.87	ウレタン防水材専用希釈剤
	ウレタン硬化促進剤*	1成分	4kg	4類2石(非水溶性)	1.11	ウレタン防水材用硬化促進剤
	チップ#20	袋	0.3kg×4袋	-	-	保護仕上材粗面仕上げ用添加剤
	T K パウダー	袋	5kg	-	-	ウレタン防水材用の増粘剤 水性保護仕上材用の艶消し剤
	S R ステンレスベント	箱	2個	-	-	逆流防止弁付き脱気筒
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	-	-	平場用脱気筒
	S R パラベント	箱	10個	-	-	逆流防止弁付き脱気盤
サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	-	-	立上り用脱気盤	

*最大添加量はサラセーヌA、サラセーヌA立上り用で0.25%、サラセーヌK、サラセーヌ立上り用、サラセーヌAV-Wで1%です。それ以上添加しても物性が低下するだけで、硬化を促進させませんのでご注意ください。

*その他製品の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店	〒103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル)	TEL:03-6667-8421
仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル)	TEL:022-299-6371
名古屋営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル)	TEL:052-219-5491
大阪営業所	〒553-0001	大阪市福島区海老江5-2-2(大拓ビル)	TEL:06-6453-6401
九州営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル)	TEL:092-431-5154
北海道出張所	〒060-0061	札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内)	TEL:011-241-5120

